
2020年2月4日（火）発行

メルマガ～開示会計を学ぶ～ Vol. 59

株式会社スリー・シー・コンサルティング

- 1 会計ニュースダイジェスト（2020年1月）
- 2 会計基準の公表予定等
- 3 ワンポイント開示会計問題演習「連結包括利益計算書2」
- 4 児玉厚の開示川柳「キャッシュ・フロー 計画分析 できてます？」
- 5 編集後記

1 会計ニュースダイジェスト（2020年1月）

- 1) 指定国際会計基準等改正案公表（1月31日）
（意見募集期限：2020年3月2日）

<https://www.fsa.go.jp/news/r1/sonota/20200131.html>

- 2) 中小企業向けIFRSのアップデートに着手（1月28日）
（意見募集期限：2020年7月20日）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/2020/01/iasb-consults-on-approach-to-updating-its-ifrs-for-smes-standard/>

- 3) IFRS、負債の「流動」「非流動」の区分を明確化（1月23日）
（IAS第1号「財務諸表の表示」）

<https://www.ifrs.org/news-and-events/2020/01/iasb-clarifies-requirements-for-classifying-debt-as-current-or-non-current/>

- 4) 内部統制基準等改訂を踏まえて内部統制府令改正案公表（1月10日）
（意見募集期限：2020年2月10日）

https://www.fsa.go.jp/news/r1/sonota/20200110_naibutousei.html

2 会計基準の公表予定等

- ・先月公表された基準等については上記「会計ニュースダイジェスト」をご覧ください。

1) IFRS (2020年6月までの公表予定)

(無印:確定 ED:公開草案 DP:ディスカッションペーパー
RI:情報要請)

(1) リサーチプロジェクト

- ・共通支配下の企業結合: DP 2020年4-6月予定
- ・のれん及び減損: DP 2020年2月予定

(2) メンテナンスプロジェクト

- ・中小企業向け IFRS の 2019 年における包括的検証: RI 2020年1月済
- ・IFRS 第17号「保険契約」改正: 2020年4-6月予定
- ・負債の流動/非流動区分 (IAS 第1号改正): 2020年1月済
- ・金融負債の認識の中止のための「10%」テストの対価: 2020年4月予定
- ・金利指標改革及び財務報告への影響: ED 2020年4月予定
- ・リースインセンティブ (IFRS 第16号設例13改正): 2020年4月予定
- ・不利な契約—契約履行費用 (IAS 第37号改正): 2020年4-6月予定
- ・有形固定資産 (意図する使用前の収入): 2020年3月予定
- ・初度適用者としての子会社 (IFRS 第1号改正): 2020年4月予定
- ・公正価値測定への課税 (IAS 第41号改正): 2020年4月予定
- ・概念フレームワークへの参照の更新 (IFRS 第3号改正): 2020年4月予定

・ワークプラン

<https://www.ifrs.org/projects/work-plan/>

・IASB Update

<https://www.ifrs.org/news-and-events/updates/iasb-updates/>

2) 日本基準

(1) 収益認識 (表示科目・注記): 2020年3月予定

(2) 「見積りの不確実性の発生要因」及び「関連する会計基準等の定めが明らかでない場合に採用した会計処理の原則及び手続」に関する開示: 2020年3月予定

(3) 金利指標改革関連: 公開草案 2020年2-3月予定

(4) 電子記録移転権利・暗号資産: 公開草案 2020年4-5月予定

(5) 連結納税制度の見直しへの対応: 公開草案 2020年2月予定

・現在開発中の会計基準に関する今後の計画（更新：2019年12月27日）
<https://www.asb.or.jp/jp/project/plan.html>

3 ワンポイント開示会計問題演習

*メルマガ読者にのみ公開しています。

4 児玉厚の開示川柳

*児玉厚（株式会社スリー・シー・コンサルティング 代表取締役）による
「開示川柳」をお届けしております。

「 キャッシュ・フロー 計画分析 できてます? 」

3月決算の予算作成が始まっている。

2020年3月決算の有価証券報告書には下記の点加わる。

1. 経営方針、経営成績及び対処すべき課題等に
「経営方針、経営戦略等の内容」を記載すること（第3号様式(10)）

→実質的に中計の開示となる

2. 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
（第3号様式(12)）

→キャッシュ・フローの計画・実績差異分析を行うこと

*続きはメルマガ読者にのみ公開しています。

5 編集後記

*メルマガ読者にのみ公開しています。

発行：株式会社スリー・シー・コンサルティング
〒171-0033 東京都豊島区高田 3-14-29 KDX 高田馬場ビル 7階
URL：<http://www.3cc.co.jp/>

Copyright (c) Three C Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved.